

希望の宣教者の祈り

希望の宣教師であるイエスのように

主イエスよ、

あなたはこの世に来られ、
闇の中にいる者に光を与え、
苦しむ者に希望を告げ、
孤独な者に愛を注がれました。



私たちもあなたのように、
希望の宣教師となれるよう導いてください。
兄弟姉妹の苦しみに気づく目を、
落胆する人を受け入れる心を、
慰めと助けを差し伸べる手を与えてください。

励ましの言葉を語り、
平和を築く行いをし、
信頼を失った人の道を照らす微笑みを
私たちに与えてください。

あなたの愛のしるしとなり、
この世の闇に輝く灯となり、
あなたの喜びと真理を証しする者となれますように。

宣教の星である聖母マリアよ、
あなたの母なるまなざしで私たちを導き、
信仰と勇気と謙遜をもって
すべての人にキリストを伝えることができますように。
アーメン。

1 「諸民族の中で生きる希望の宣教者」

Step 1: 聖年の希望と宣教

聖年における世界宣教の日に向けて、聖年の中心
的なメッセージが「希望」であることを踏まえ、
テーマに「諸民族の中で生きる希望の宣教者」を
選びました。このテーマが…洗礼を受けた人の共
同体である教会に思い起こさせるのは、キリスト
の足跡に従って希望の使者となり、それを築く者
となるという根本的な召命です。忠実な神が復活
したキリストにおいて、「生き生きとした希望を
与えて」わたしたちを新たに生まれさせてくださ
ったことを胸に、すべての人が恵みのときを過ご
せるよう願います。また、わたしたちが神の靈に
導かれ、聖なる熱意に燃えて、教会の新たな福音
宣教の季節を迎えることができるようせつに願
います。教皇フランシス 2025 年「世界宣教の日」メッセージより



祈りの旅を始めましょう。

今週は **アメリカ**大陸を思い起こします。
この地に住むすべての人に神からの
必要な恵みが与えられますように。

正義と平和を切望するアメリカ大陸の人々、特に貧しい人々、疎外されている人々、差別を受けている人々、少数民族の人々のために、アメリカにおけるカトリック教会が、キリストの弟子であり宣教者であるという意識を新たにして、イエスの救いの喜びを深く味わい、伝える力が与えられるように祈りましょう。

「はい」と言う喜び (召命)

「あなたがたがわたしを選んだのではない。
わたしがあなたがたを選んだ。」
(ヨハネ 15:16)



典礼での提案

入祭の行列

4本のろうそくまたはランプを祭壇の前に並べます。これは宣教月間の4つのテーマを表し、最初の「召命」は灯の光として象徴されます。

終わりの祈り

典礼の最後に、4ページの祈りを皆で心を合わせて唱えます。

日常生活での提案

共同体としての行動

地域の教会の歩みに貢献された人々や、そこから生まれた召命を思い起こしながら、名前や写真を掲示し、感謝の祈りを捧げます。

個人としての行動

神学生や召命の道を歩む若者に祈りを通して寄り添い、経済的な支援に加えて日々の祈りや励ましのメッセージを届けながら、それぞれの歩みに心を寄せ、霊的な絆を育む取り組みを始めます。

主日の福音から黙想のヒント

年間第27主日

「『わたしどもは取るに足りない僕です。しなければならないことをしただけです』と言いなさい。」(ルカ 17.5-10)



神の愛を知って生きる人は、その喜びがあふれ出て、それを伝えずにはいられない。だからこそ、他に何も求めることはない。

ともに祈りましょう (共同祈願)

- ☆ イエスとの出会いに魅せられて イエスのように生きようとする若者たちをふやしてください。物欲から解放され、主に従う喜びが与えられますように。
- ☆ わたしたちの教会が、経済的に困ったときでも、貧しい人たちのことを忘れることがありませんように。

典礼と祈り



宣教のロザリオ

アメリカ大陸のためにロザリオの一連を唱えましょう。